

広島県妊活応援特設サイト「広島県ふたりの妊活全力応援」 の開設について

1 要旨・目的

若い年齢層の夫婦への啓発や、男性の不妊に関する当事者意識を高め、早い段階での不妊検査の受診を促すと共に、県の不妊検査費等助成事業の利用を促進するため、令和元年度に開設した不妊にまつわる情報サイトをリニューアルした。

2 現状・背景

本県では、妊娠・出産に伴うリスクが低く、出産に至る確率が高い年齢のうちに、夫婦揃って早期に不妊検査を受診することを促すため、検査費・治療費の一部を助成する「広島県不妊検査費等助成事業」を、平成27年度から実施している。

助成事業の利用を促すため、不妊症に関する情報を集約した特設サイト「妊活まるわかり！大辞典」を令和元年度に開設し、制度の啓発に取り組んできたが、まだ不妊に関心を持っていない若い夫婦・カップルや不妊検査に対して抵抗感の強い男性に行動変容を促すことが重要であるにもかかわらず、こうしたターゲット層への訴求ができていないことが課題となっていた。

3 概要

(1) サイトの運営主体

広島県

(2) ターゲット

まだ不妊に関心を持っていない若い夫婦・カップルや不妊検査に抵抗感のある男性のほか、既に妊活に取り組んでいる夫婦・カップル

(3) リニューアルサイトの公開日

令和4年4月1日

(4) 改善点・特徴

ア 「チャレンジクイズ」

妊娠・妊活・不妊にまつわるクイズを医師の解説と共に掲載。サイト訪問のハードルを下げ、若い世代のアクセス増に繋げる。

イ 「男性の妊活」「女性の妊活」「2人の妊活」

男性・女性が共に妊娠・妊活の基礎知識や不妊について学び、話し合える内容を提供。特に、男性の当事者意識を高め、妊活は2人で取り組むものとの自覚を促す。

ウ 「先輩の声」

夫婦で妊活に取り組むためのヒントとして経験者の体験談をテーマ別に掲載し、当事者意識を高める。

エ 「相談機関」

広島県不妊専門相談センターを紹介するとともに、県内の不妊検査・不妊治療実施医療機関の検索システムを追加し、不妊検査の受診へ繋げる。また、広島県不妊検査費等助成制度の紹介や電子申請の案内を掲載し、制度の認知度を高める。

(5) 構築費用

令和3年度予算 3,985千円（単県）

【参考】「広島県 ふたりの妊活全力応援」のイメージ



【参考】スマートフォンの場合



QRコード



4 その他（関連情報等）

不妊治療に取り組む方が、不妊治療に関する統計データやAIが抽出した自分と似た人のデータを参照しながら治療過程を記録していくアプリ「cocoromi（ココロミ）」（運営：株式会社 vivola）に、広島県内ユーザー向けの特設ページを開設し、広島県不妊専門相談センターや「広島県ふたりの妊活全力応援」サイトの紹介、助成事業の案内等、不妊治療に関する情報提供を行う。

なお、同社の不妊治療アプリなどのフェムテックサービスは、県商工労働局の「ひろしまサンドボックス」の令和3年度の実証プロジェクトとして採択されている。

【参考】不妊治療データ検索アプリ「cocoromi」広島県特設ページのイメージ

